

# 平成 25 年度第 1 回「埴町地域公共交通活性化協議会」議事録

日時 平成 25 年 7 月 5 日（金）午後 4 時

場所 埴町農村勤労福祉会館 1 F 大研修室

出席 18 名（別紙名簿のとおり）

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 会長あいさつ
4. 議事

要綱に基づき、麻山会長が議長となり議事を進めていった。

## （1）報告事項

報告第 1 号 平成 24 年度事業報告について

報告第 2 号 平成 24 年度埴町地域公共交通活性化協議会収支決算について

事務局より、まず協議会設立からの経過を説明したあと、報告第 1 号及び第 2 号についてまとめ報告を行い、平成 24 年度監事の鈴木岳委員から会計監査報告をしていただいた。

### 質疑

麻山会長) 決算書で負担金（埴町負担金）が 0 円になっているが、この理由は何か。  
事務局) 当初は 24 年度中に田代地区での実証実験を行う予定であったが実行できず、また前年度繰越金で協議会運営ができたため町の負担金は 0 円になっている。

## （2）協議事項

議案第 1 号 役員改選について

事務局より、委員の任期途中であるが昨年度副会長であった萱原氏が年度の役員改選により協議会委員でなくなったため、要綱に基づき前もって会長より副会長の指名をしたところ、埴町青少年育成町民会議埴地区推進協議会の会長である佐々木勇人委員が指名された旨を説明し、意見等なく承認された。

議案第 2 号 平成 25 年度事業計画について

議案第 3 号 平成 25 年度埴町地域公共交通活性化協議会予算（案）について

事務局より議案第 2 号及び議案第 3 号について提案をした。

## 質疑・意見

- 藤田一男委員) 収支率 40%というのは実際かなり難しいと思う。なぜ 40%に設定したのか。また実証実験についてのアンケート等と思うがそれについてどう考えているか。
- 事務局) 40%というのは福島県の補助金が交付されるときに基準とされている数値であるためこの基準を適用した。アンケートに関しては、実証実験をしているときあるいは終わったときに行う予定であり、どのような項目にするかは協議会で検討していきたい。
- 藤田一男委員) 利用者が少なかった場合はどうするのか。
- 事務局) 利用者や沿線住民への聞き取り調査をし、その結果をふまえ、協議会で今後のことを話し合いたいと考えている。
- 星委員) 実施路線について質問であるが、山形区や板庭区についてはどうなのか。
- 事務局) 路線については福島交通と事務局とで協議した。山形に関しては近くの停留所まで来ていただくしかないが、実証実験はこの路線で計画している。
- 勝田委員) 別紙1の路線地図について、図上にある青い点は家なのか。
- 事務局) 青い点は民家を示している。
- 藤田一男委員) 予算の事業費は三ヶ月分の費用であるのか。それとも一年分のものか。
- 事務局) 三ヶ月の実証実験費である。実証実験には200万かかるとみられているため、事業費として計画している。
- 白石委員) 実証実験に使用するバスは小さいバスがいいのでは。
- 鈴木元委員) 予定している車両はマイクロバスで、現在町内を走っているバスより一回り小さいものになる。3月にルート確認をした際には通常のバス車両で行ったが車の往来も少なく、マイクロバスであれば運行可能である。
- 芳賀とし子委員) 実証実験の対象は通学する子供も含まれるのか。
- 事務局) 通学する子供は含まれず、一般の方を対象としている。
- 勝田委員) 町民が、実証実験でバスが走っていることすらわからないということがないようにPR等していかなければならないだろう。
- 事務局) PR方法については現在、IP告知やマスコミへの記事掲載、回覧、区長さんを通じての周知をしていきたいと考えている。また厚生病院等、各機関に貼紙をして周知していきたい。
- 芳賀とし子委員) 8月から実験を行うということだが、お盆の時期は普段よりもバス利用者が少なくなると思うので、利用率に影響してしまうのでは。

事務局) 8月だけでなく、8月～10月の3ヶ月を総合して利用率を出すので大きく影響しないと考えている。

鈴木岳委員) 実証実験をして毎日少ない利用者に乗せるよりも、デマンドタクシー的なものでタクシー乗車の方に補助した方が、町の予算的にも良いと思う。

事務局) 言っていることはよく分かるが、この事業は当該地区住民の強い要望があり始めようとしたもので、たとえ失敗してもそれをどうするか考えて改善していくのが行政の仕事だと思う。まずは実証実験をしてみて、次の段階に進んでいければと思う。

## 5. その他

会長である麻山副町長が、11日で埴町を退職されると天沼まち振興課長から説明があり、副町長から感謝のあいさつがされた。

## 6. 閉会

終了：午後5時

(別紙)

### 第1回埴町地域公共交通活性化協議会出席者名簿

【任期:平成24年7月5日～平成26年3月31日】

No.	団体名	所属職名	氏名	区分	委嘱状	出欠
1	埴町	副町長	あきやま てんくくに 麻山 晃邦	町長が指名するもの		○
2	福島交通株式会社	白河総括営業所長	すずき はじめ 鈴木 元	公共交通事業者		○
3	有限会社埴タクシー	代表取締役	すずき たけし 鈴木 岳	公共交通事業者		○
4	有限会社ファミリータクシー	代表取締役	ひるた たかし 蛭田 孝	公共交通事業者		○
5	国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所	調査課 課長	きとう こうき 佐藤 幸喜	道路管理者		代理
6	福島県棚倉土木事務所	所長	すずき よしひろ 鈴木 義弘	道路管理者		○
7	棚倉警察署	交通係長	やすだ こうじ 安田 幸二	棚倉警察署長又は その指名する者		×
8	埴町区長連合会	会長	しらいし たくみ 白石 卓三	地域公共交通の利用者	○	○
9	埴町PTA連合協議会	副会長	はら むねみつ 原 宗光	地域公共交通の利用者		×
10	埴町老人クラブ連合会	会長	ほし てらあき 星 輝明	地域公共交通の利用者		○
11	埴町青少年育成町民会議 (埴地区推進協議会)	会長	き きき へやと 佐々木 勇人	地域公共交通の利用者		×
12	埴町青少年育成町民会議 (常豊地区推進協議会)	会長	ふじた たかお 藤田 孝夫	地域公共交通の利用者	○	○
13	埴町青少年育成町民会議 (笹原地区推進協議会)	会長	ふじた かずお 藤田 一男	地域公共交通の利用者		○
14	埴町婦人会	会長	えんどう せいこ 遠藤 勢子	地域公共交通の利用者		○
15	埴町婦人会	前会長	は が としこ 芳賀 とし子	地域公共交通の利用者		○
16	ふくしま自治研修センター	総括支援アドバイザー	よしおか まさひこ 吉岡 正彦	学識経験者		○
17	国土交通省東北運輸局福島運輸支局	首席運輸企画専門官	かねひら さとし 兼平 悟	町長が必要と認める者		×
18	福島県県南地方振興局	県民環境部 副部長兼県民生活課長	かげやま つよし 影山 剛	町長が必要と認める者		○
19	埴町商工会	事務局員	はが ひろみ 芳賀 宏美	町長が必要と認める者	○	○
20	はなわ共栄会	代表	おおたけ たかよし 大竹 孝和	町長が必要と認める者		代理
21	はなわよんく協同組合	会長	かつた のぶひろ 勝田 宣宏	町長が必要と認める者		○
22	埴町社会福祉協議会	事務局長	おおくし たけし 大越 忠幸	町長が必要と認める者	○	○
23	埴厚生病院	事務長	かとう ひろし 加藤 洋志	町長が必要と認める者		×
24	福島交通労働組合白河支部	棚倉分会長	うぶかた けんいち 生方 賢一	町長が必要と認める者	○	×

調査課 専門官  
吉家正俊

吉田 昌弘

